

強風で倒れた倒木が荒川によみがえります ～荒川の環境整備工事で倒木を再利用～ 【景観との調和、環境負荷の低減を目指した川づくり】

福島市内を流れる阿武隈川の支川「荒川」では、昨年「荒川流域の歴史的治水砂防事業」が「土木学会の選奨土木遺産」に認定され、また「砂防堰堤や床固工」15施設が「国の登録有形文化財」に登録されました。さらに環境省の「平成の名水百選」にも選ばれて、沿川の散策にも多くの方が訪れています。

いま荒川の周辺では、散策など河川利用の利便性を高めるため、河川の環境整備工事を行っています。通路や階段などを整備するものですが、これらの整備にあたり、従来では処分されていた倒木（昨年2月の強風で倒れたアカマツなど）を再利用しています。

これは資材の有効活用のみならず、周辺の景観との調和を図ることができ、環境負荷の低減にもつながるものと考えております。

現在行っている主な工事には、次のものがあります。

①階段

芋煮会場などで利用の多い河川敷へ行く際の堤防（霞堤）を上り下りする階段を整備。階段の材料として、「アカマツの倒木を加工」したものを利用。

②チップ舗装

樹林帯の中の通路に、「倒木をチップ化」したものを敷き詰める。

【工事期間】平成21年3月末まで 【工事場所】福島県福島市佐原地内

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

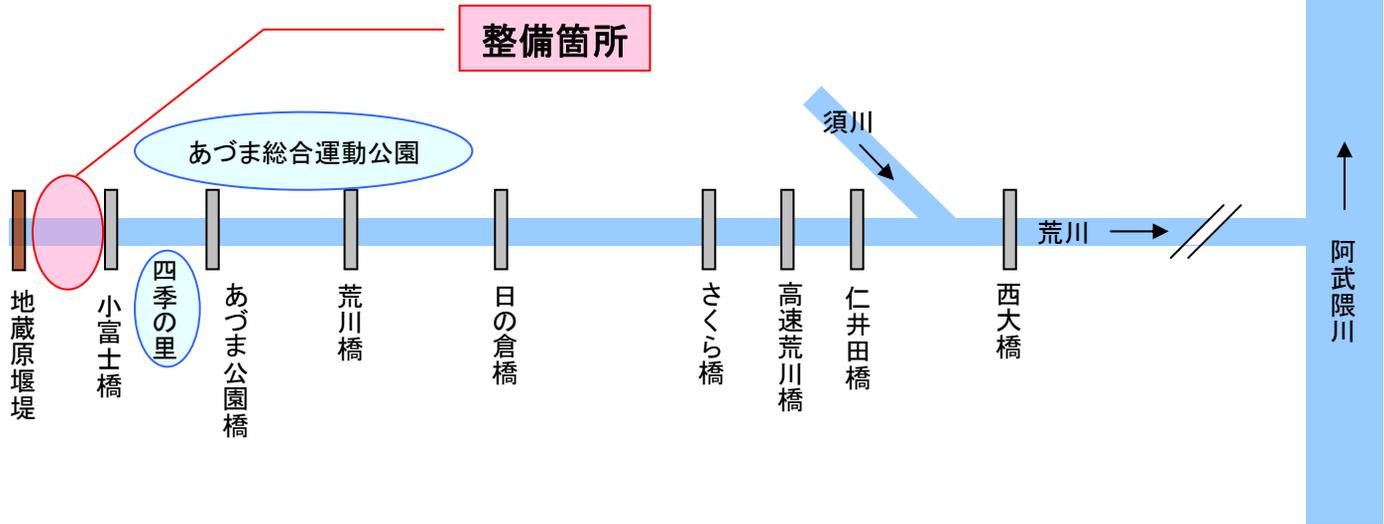
工務第一課長 水越 崇（内線311）

電話 024-546-4331（代表）

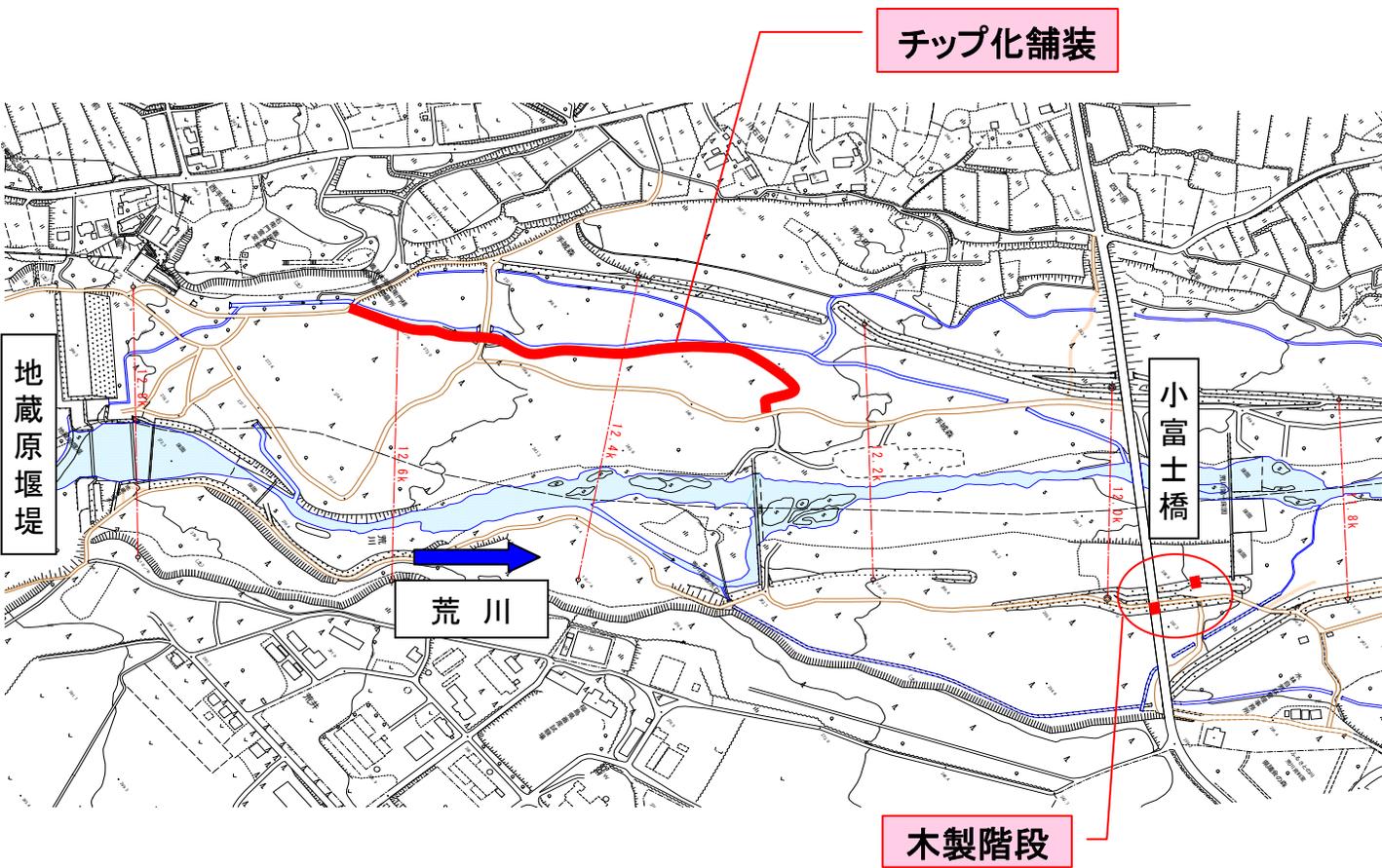
伏黒出張所長 高橋 隆（内線6221）

電話 024-583-3233（代表）

●位置図



●平面図



●作業状況



チップ舗装

階段



3月末日完成予定！！